

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 12040040

政策目標	3	のびやか・雄武～教育・文化の振興～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	12	学校教育の充実	事業優先度	A		
単位施策	2	小中学校の教育環境の充実	政策事務分類	3	単独自治事務(その他)	
事業名	旧学校給食センター地下燃料タンク廃止事業		見直し年度			
事業期間	平成28年度		担当課	12	教育委員会教育振興課	
事業主体	雄武町		関係課	#N/A		
事業指標	地下燃料タンク廃止		関係課	#N/A		
事業目標	地下燃料タンク廃止 1施設		ハード/ソフト 事業区分	1	ハード事業	
住民参加	無		関係例規・法令名	有	消防法	
住民協働			関係個別計画名			

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容
計 画 内 容	● 旧学校給食センターの地下燃料タンク廃止				旧学校給食センターの地下燃料 タンク廃止工事	
	事業費(千円)	440	0	0	440	0
計 画 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
一般財源	440				440	0
実 績 事 業 費	事業費(千円)	432	0	0	432	0
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	0					
一般財源	432				432	
関 連 事 項	特定財源の名称	【評価・実績】	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等) 地下燃料タンク廃止 1施設(1基)
			※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果 A-終了
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値				1施設
		年度達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	98%
	第6期計画への継続 (継続有り)	全体達成率	0%	0%	0%	98%
	備考欄					98%

事業名	旧学校給食センター地下燃料タンク廃止事業	評価者 管理職 職氏名	教育振興課長	澤田 朋朗
		評価者 作成者 職氏名	学校給食係長	齋藤 康志

様式1
平成28年度実施
平成29年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町(教育委員会)	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	地下燃料タンクの廃止工事を実施した施設数	
【抱える課題やニーズは】	新しい学校給食センターの稼働に伴い、閉鎖となった旧施設の地下燃料タンクを現状のまま放置しておくことは、タンク本体の浮き上がりや結露による腐食を原因とする残留危険物の漏洩を招く危険性があることから、廃止工事を行う必要がある。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	地下燃料タンクの廃止工事。	① 地下燃料タンクの廃止工事を実施した施設数	目標年度	平成28年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	地下燃料タンクの浮き上がりや、残留危険物の漏洩が防止される。		目標値	1施設
			実績値	1施設
			達成度	100.0%
		②	目標年度	平成28年度
			目標値	
			実績値	
			達成度	#DIV/0!%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	地下燃料タンクの廃止工事	地下燃料タンクの残油抜き取り・洗浄、乾燥砂充填、プロテクター解体撤去、マンホール蓋部分のコンクリート封鎖。		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input checked="" type="checkbox"/>	義務的なもの	施設の安全性を守ることに加え、放置した場合は消防法に抵触するおそれがあることから、法令上も必要な事業である。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	地下燃料タンクの廃止工事を完了し、タンクの浮き上がりや残留危険物の漏洩が防止された。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
有効/概ね有効/課題あり	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	地下燃料タンクの廃止には、撤去と封鎖の二つの方法があるが、撤去の場合は多額の費用を要することから、乾燥砂充填による封鎖を選択し、事業費の抑制に努めた。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

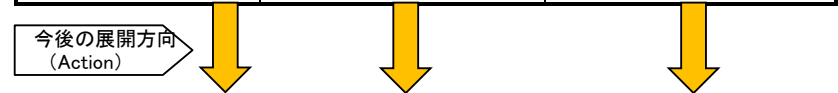
公平	判断の理由	公共施設の適正な維持管理及び法令順守のため必要な事業であることから、公平であると判断した。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
地下燃料タンクの廃止工事を完了し、タンクの浮き上がりや残留危険物の漏洩が防止された。		



終了		
旧学校給食センターの今後の取扱いについては、十分な検討や協議を経ての決定が求められるところであり、地下燃料タンクの撤去については、施設の取扱い方針が決まった後に判断することとなる。		
※展開方向の区分 ○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 ○終了 ○休止 ○廃止		